

## あいつ桜だより

今年の冬は、太平洋東部のペルー沖で海面水温が上昇する「エルニーニョ現象」により、日本各地で例年になく暖冬となりました。

それに伴い、桜の開花も早まり、会津若松市では4月6日に開花宣言がされ、4月11日に満開となりました。これは観測史上2番目の早さだそうです。早めの開花に慌ててお花見の計画をし始めた方も多かったのではないのでしょうか。

※去年は4月12日開花、4月20日満開。

今回のフォトアルバムでは、会津若松市内の桜の人気スポットである「鶴ヶ城」と「石部桜」を紹介します。

### 鶴ヶ城

桜の名所百選のひとつにも数えられる会津の桜の名所です。ソメイヨシノを中心に、ヤエザクラ・コヒガンザクラ・シダレザクラが約1,000本咲き誇ります。

平成23年にふき替えが完了した赤瓦と、淡紅色の桜とのコントラストがとても素敵です。

(撮影日：2016年4月12日～13日)



#### ▶天守閣から

天守閣からは城下町会津若松市を一望することができます。

この季節は、鶴ヶ城周辺を桜が囲んで華やかさを演出します。鶴ヶ城の白壁と赤瓦、周辺の緑、そして淡い桃色のコントラストが美しく絵画のようです。

(赤瓦に白く見えるのは、満開の4月11日に積もった季節外れの雪です)



#### ▶お堀から



#### ▶夜桜

東日本最大級の規模で1,000本の夜桜がライトアップされます。昼間の華やかな雰囲気とは違った、しっとりとした静寂の中での花見はこの時期ならではの醍醐味です。



### 石部桜

樹齢約650年といわれるエドヒガンザクラです。2013年のNHK大河ドラマ『八重の桜』のオープニングに出てくる桜の木で有名になりました。佇むその姿からは、はるかな時代を生き抜いてきた重みが伝わってきます。

周囲は田畑に囲まれており、なお一層目を引きまします。10本の幹からなり、枝張は最も広いところで約20mもあり、雄大な姿に魅了されます。いろいろな表情を見ることができるので、角度を変えて鑑賞することをおすすめします。

(撮影日：2016年4月12日)

